



2025年10月

モロッコ・タンジェで開催された最高のPIANC地中海デイズ2025

10月29日～30日、沿岸・港湾工学に関する第6回PIANC地中海デイズ会議が開催（於 モロッコ・タンジェ, Palace of Arts and Culture）され、ニザール・バラカ氏（Mr. Nizar Baraka）（水資源・設備大臣）、レイラ・ベナリ博士（Ms. Leila Benali (PhD)）（モロッコ王国エネルギー転換・持続可能な開発大臣）、サナエ・エル・アムラーニ氏（Ms. Sanae El Amrani）（モロッコ港湾・海洋工学会会長）、ムスタファ・ファレス氏（Mr. Mustafa Fares）（国家港湾庁総局長）並びに地域評議会議長（President of the Tangier-Tetouan-Al Hoceima Regional Council）が出席しました。PIANC本部を代表してフランシスコ・エステバン・レフラー（Mr. Francisco Esteban Lefler）PIANC会長が参加しました。



エステバン・レフラーPIANC会長は、挨拶の中で、地中海地域及び世界における貿易・水上交通・港湾の歴史を特徴づけてきた顕著な国際化の軌跡に焦点を当て、地中海地域の特色でもある多様性と結びついたこうした豊かな伝統・遺産が、包括的アプローチを通じて、21世紀の課題への対応を可能にすると強調しました。

彼はまた、気候変動の課題に直面する中でのインフラの持続可能な管理に向け、港湾・海事分野における地域協力の結集、専門知識・知見の交換、イノベーション促進において、本会議の重要性を示しました。

開会セッションでは、サナエ・エル・アムラーニ氏により、モロッコ港湾・海洋工学会が代表となるPIANCモロッコ支部の設立が表明されました。

沿岸・港湾工学に関する第6回PIANC地中海デイズ会議の全体パネルセッション「持続可能性, 強靱化, 脱炭素化に係る課題に直面する地中海の港湾と沿岸地域(Mediterranean Ports and Coastlines Facing the Challenges of Sustainability, Resilience & Decarbonisation)」では, 気候変動, 環境の持続可能性, エネルギー転換を背景として, 地中海の港湾と沿岸地域が直面する重大な課題に取り組んでいるハイレベルの専門家が参集しました。



第6回PIANC地中海デイズに併催して, PIANC会長エステバン・レフラー氏, モロッコ港湾・海洋工学会会長サナエ・エル・アムラーニ氏を含む著名な代表団と共に, 専門家や会議参加者はタンジェの歴史的な灯台(Cap Spartel Lighthouse)を訪問視察しました。

この視察では, 国際航路標識協会(IALA)事務総長より栄誉ある「2023年灯台遺産賞」を受賞した象徴的な海事ランドマークが披露されました。本施設はアラブおよびアフリカ地域で初めてかつ唯一の受賞灯台です。

続いて, 参加者はモロッコの豊かな海洋史と灯台の技術的な機器・設備の貴重なコレクションを展示する「モロッコ灯台博物館」を訪問し, 世界的に有名なモロッコの海洋遺産の文化的・歴史的な遺産の意義を改めて認識しました。

第6回PIANC地中海デイズ2025は, PIANC会長エステバン・レフラー氏とモロッコ港湾・海洋工学会(AMIPM)会長サナエ・エル・アムラーニ氏による全体閉会式をもって終幕しました。



PIANC会長より, 地中海デイズがより成熟した包摂的かつ総合的なプラットフォームへと進化していることの言及があり「本会議の閉会は, PIANC地中海デイズの新たな時代の始まりを示すもの」との宣言がありました。彼は「大きなエネルギーを感じます。どうか立ち止まらずに進んでください」とモロッコ港湾・海洋工学会の台頭する力を賞賛しました。

エステバン・レフラー会長は, モロッコ港湾・海洋工学会と共同して, アフリカにおける協力関係を深化させるというPIANCのコミットメントを発表しました。彼はモロッコ王国と関係当局に対し, 本会議への揺るぎない支援について, 深く謝意を示しました。

こうした振り返りに加え、サナエ・エル・アムラーニ氏は、モロッコで初の会議の成功裏の開催を誇りに思うことと、参加者とパートナー全員に心からの感謝が示されました。

今後のPIANCイベントにご参加ください！

PIANC 英国セミナー 2025年11月10日
テーマ：PIANC WG最新情報

PIANC PTGCC(気候変動に関する
常設タスクグループ)ウェビナー
2025年11月18日



開催日 2025年11月10日

時 間 18:00~19:00 GMT

場 所 イギリス土木学会 (ICE)

オンライン参加も可能 [登録 こちら！](#)

リンク先「概要・プログラム・スピーカー
(仮訳)」は [10頁参照](#)

[ウェブサイト はこちら！](#)



トピックNo.1：ネット・ゼロの成熟度の評価ベン
チマークツール

Rhona Macdonald氏(British Ports Association)

トピックNo.2：陸上給電の導入準備

Matheus Miranda氏(PE Project Manager)

トピックNo.3：リアルタイムデータによる港湾
脱炭素化の推進

Erik Gerking氏(Port of Everett)

Aldo Ferrufino氏(Ports and Maritime US West)

質疑応答

[フライヤー ダウンロード！](#)

[ウェブサイト はこちら！](#)

PIANC 「北海」 会議及び年次総会2026
PIANC NORTH SEA CONFERENCE & AGA 2026
2026年5月11日-15日
開催地：英国・ハル



ウェブサイト開設済,
2026年1月5日より参加登録受付開始！

[ウェブサイト はこちら！](#)

概略プログラム(詳細版は2026年1月公表予定)

[こちら！](#)

- ネット・ゼロ会議(Navigation: to Net Zero)
5月11日(月)～5月12日(火)
- PIANC年次総会(AGA)
5月13日(水)～5月15日(金), 5/15は視察ツアー
- AGA同伴者プログラム
5月13日(水)～5月15日(金)
- 若手技術者(YP)イベント
5月12日(火)～5月13日(水)

PIANC 第11回COPEDEC 2027
PIANC-COPEDEC XI
2027年2月21日～26日
開催地：インド・チェンナイ



第1回お知らせダウンロード [こちら！](#)
または ウェブサイト参照(下記クリック)

[ウェブサイト はこちら！](#)

※以下, 第1回お知らせ等より

- PIANC COPEDECの役割：
 1. 開発途上国の沿岸・港湾技術者による相互または先進国の専門家と知識・経験を交換する国際的プラットフォームの提供
 2. 沿岸・港湾工学の専門家におけるの持続可能な人材育成プールの発展を支援
- 今回会議の全体テーマ：
気候変動への対応のための沿岸, 港湾・水路の適応策
- 開催場所：IIT Madras(Indian Institute of Technology), インド・チェンナイ

PIANC 各WG及び委員会からのニュース

PIANC 各WGからのニュース

海港委(MarCom) WG251- ‘破断係船索の補足装置の設計に関するガイダンス(Guidance on the Design of Parted Mooring Line Arresting Systems)’ –
ー業界アドバイザリー・フォーラム開催

※リンク先記事の「仮訳」は[11頁参照](#)

プログラム

12月11日(木)

- 13:00: 開会挨拶
- 13:15: フリーマントル港(豪)プレゼン(仮)
- 13:30: WG251最新状況・中間成果(1)
- 15:00: 休憩
- 15:30: WG251最新状況・中間成果(2)
- 18:00: 閉会(地元・お奨めの店紹介)

12月12日(金)

- 10:00: ツアー(フリーマントル海事シミュレーションセンター(仮))
- 12:00: 昼食, 第2日目の開会挨拶
- 13:15: 港湾所有者・オペレーター円卓会議(1)
- 15:00: 休憩
- 15:30: 港湾所有者・オペレーター円卓会議(2)
- 18:00: 閉会

[参加登録 ここから！](#)

海港委(MarCom)WG 252- ‘海上インフラプロジェクトの設計による安全性(Safety by Design of Maritime Infrastructure Projects)’ –
ーアンケート調査のお知らせ

※リンク先記事の「仮訳」は[12頁参照](#)



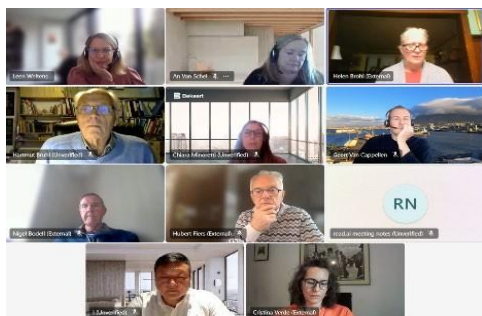
[アンケート回答は ここから！](#)
または上記のQRコードから

若手技術者委員会(YP-Com)からのニュース



- [第46回PIANC YP-Com代表者会議](#) (リンク先記事「仮訳」 [13頁参照](#))
- [新YP-Com事務局長\(Bruno Maggiolo Rodón氏, 左写真\)を歓迎](#)
(リンク先記事「仮訳」 [14頁参照](#))
- [2025年, これまでに開催されたYP地域イベント](#)
(リンク先記事「仮訳」 [15頁参照](#))
- [今後のYP地域イベント-お知らせ-](#)
(リンク先記事「仮訳」 [16頁参照](#))

振興委員会(ProCom)からのニュース



振興委員会(ProCom) 2025年第4回会合

※リンク先記事の「仮訳」は[16頁参照](#)

PIANCコミュニティからのニュース

各国部会や各国支部からの活動実績報告や今後のイベントの共有のお知らせ

PIANC アルゼンチン部会からのニュース



アルゼンチンにおける港湾工学研修コース：
研修と協働週間

PIANC 日本部会からのニュース



PIANCアジアセミナー2025(10/21開催)報告
日本語版ニュース [ここから！](#)

PIANC ベルギー部会からのニュース



ベルギー・技術代表団のパナマ訪問

PIANC スペイン部会からのニュース



スペイン・アンダルシア地域の交通インフラ
会議(Congress for Transport Infrastructure
in Andalusia(CITA)) 開催

PIANC 新たな資格会員(QM;Qualifying Member)としてペルーを歓迎

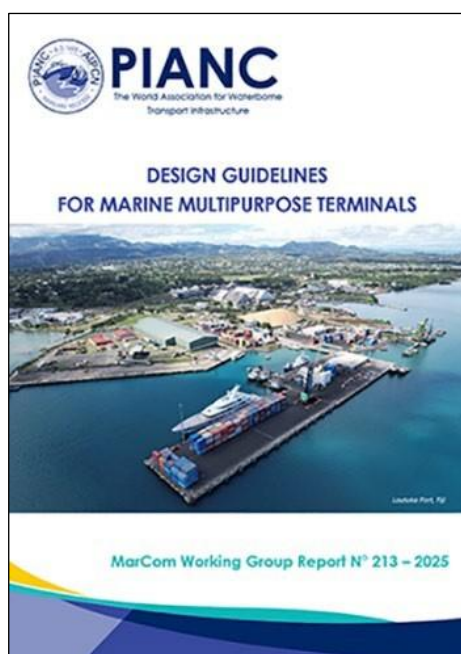
10月初旬,PIANC本部は「ペルー港湾庁(Autoridad Portuaria Nacional de Perú)」を新たな資格会員として協会に迎え入れました！
実りある協力関係を期待しています！



出版物

最新の発刊

次の報告書が2025年10月に出版されました。



PIANC WG 213(海港委員会(MarCom))：‘海上多目的ターミナルの設計ガイドライン(Design Guidelines for Marine Multi-purpose Terminals)’

[PIANC会員は無料ダウンロード！](#)

[ウェブショップからの購入！](#)

プラチナ会員からのニュース

シバタフェンダーチーム(SFT: SHIBATAFENDERTEAM)

第12回ポルトガル沿岸・港湾工学会議を後援

11月6日～7日,PIANCポルトガル部会主催による第12回ポルトガル沿岸・港湾工学会議(於 フィゲイラ・ダ・フォス)で開催されます。本イベントでは専門家が集い、イノベーション, 持続可能性, 同国の沿岸・港湾工学の未来について議論します。

SFTはこの重要な会議の後援ができ光栄です, 当社を代表して, ポルトガル営業部門から部門長の **アルヴァロ・ロデロ**(Álvaro Rodero)氏, **ダイアナ・フェルナンデス**(Diana Fernandes)氏が参加, 「海事産業の脱炭素化:防舷材システムの持続可能性の評価(Descarbonização da Indústria

Marítima: Avaliação de Sustentabilidade dos Sistemas de Defensas)」を発表します。

長年のPIANCプラチナ会員としてSFTは、持続可能な港湾・沿岸ソリューションの推進、PIANCコミュニティ内での知見の交流や協働の支援に引き続き取り組んで参ります。

クリスティーナ・ベルデ([Cristina Verde](#))
SFT 上席市場担当マネージャー(Senior Marketing Manager)

Trelleborg社メルボルン施設においてPIANC会員を迎える

Trelleborg Marine and Infrastructure社は、10月初めにPIANC豪州・ニュージーランド部会ビクトリア州地方支部の会員をメルボルン施設に迎え、現地のドッキングおよび係留作業の詳細視察を実施しました。

午後のプログラムはクレイトンのエンジニアリング・センターにおいて、メンバーは当社の設計及びプロジェクト管理能力を視察しました。当社チームは、豪州の港湾全体で開発・導入されつつある自動係留システムや先進技術に係るライブの講演説明により、どのように各ニーズにあわせカスタマイズした海洋ソリューションを開発しているかをデモンストレーションしました。本セッションでは、当社のグローバルな専門知識と現地での製造・サービス提供を融合した統合的エンジニアリング・アプローチ能力を強調しました。ノーブルパークの製造施設では、主要な海上設備のライフサイクル全体について見学いただきました。

技術見学では、クイック・リリース・フックの製造工程、ロードセルの交換手順及び包括的な改修能力に関する視察を含むものでした。稼働中の受注生産現場を見学することで、過酷な海上環境で供用する設備に必要な精密工学や品質基準に係る実践的な知見を得ることができました。

メルボルンにおける当社施設の紹介を通じて現地事業が豪州の海上インフラ分野を支えているかを示す機会を得たことに感謝いたします。当社の開発チームと広範なPIANCコミュニティの技術的及び実践的な知見の交換は、双方に有益なものとなりました。

夕刻には、公式な技術視察から和やかな交流に移行しました。当社エンジニア達にとってのPIANCメンバーの経験



から学ぶ機会、PIANCメンバーの方々の現地の実体験の機会が、双方にとり有意義かつ価値あるものとなったことを願っています。

今回のイベントは、本業界における協働の重要性を改めて認識させてくれました。熱意ある専門家集団との交流機会を設けていただいたPIANCビクトリア州支部に感謝申し上げます。

アレクサンドラ・ヤン(Alexandra Yang)
市場担当役員(Marketing Executive) Trelleborg Marine and Infrastructure

PIANCスマートリバーズ2025におけるTrelleborg社の活動

Trelleborg Marine and Infrastructure社は、9月8日から12日まで米国テネシー州メンフィス開催(於 Renasant Convention Center)されたPIANC-Smart Rivers 2025に参加しました。6大陸からの300名以上の専門家による持続可能な内陸水運の推進に焦点を当てた議論が行われました。



スタンド126では、当社チームは高いエネルギー吸収性と耐久性を備えた海上防舷材システムをはじめとして、資産設備の活用最適化と接岸安全性の向上を実現するドッキング・係留ソリューション等の内陸水路の用途に特化したエンジニアリングシステムを展示しました。

会議期間中、当社の技術専門家達は来場者に対話交流し、現場での適用事例や運用上の課題について議論しました。こうした対話により、私たちが常に認識していることを再確認できました：内陸水路は、変化する環境に合わせたダイナミックな解決策が求められており、個別の議論により、北米やそれ以外の地域における河川インフラプロジェクトの変化するニーズに関する貴重な知見をもたらしました。

アレクサンドラ・ヤン(Alexandra Yang)
市場担当役員(Marketing Executive) Trelleborg Marine & Infrastructure

以下はPIANCのプラチナパートナーです：



ソーシャルメディアでPIANCをフォローしてください：



ニュースレターのご購読をご希望ですか？ メール設定は [こちらから](#)

PIANC公式サイト：<https://www.pianc.org/>

PIANC会員になるには（右記、日本部会へご連絡を） info@pianc-jp.org

<https://www.pianc.org/join-pianc/>



PIANC WG最新情報 PIANC英国ウェビナー（於 英国土木学会）

概要

本セミナーでは、講演者からPIANC WGへの関与やWG委員としての役割について報告・議論し、聴衆が各WG成果について早期に理解可能な機会を提供します。

- ピーター・ハンター(Peter Hunter)氏は、最近発刊されたWG206報告書「航行用閘門の設計 (Design of Navigation Locks)」に関する最新情報を私たちに共有します。本報告書は航行用閘門の計画、設計、建設、維持管理に関する詳細かつ最新のガイドラインです。PIANC WG206が主導・作成したこの報告書は、前回報告書1986年版以降におけるベストプラクティスと技術的な進歩等を更新し、技術者、計画担当者や利害関係者のための確実なフレームワークを提供しています。
- デイビッド・ヴィール(David Veale)氏とラビンダー・マンク(Rabinder Manku)氏は、化石燃料ベース貨物及びクリーン代替燃料貨物を取扱う液体・ガス海上ターミナルの設計と評価に関するWG153Cの勧告報告書について最新情報を私たちに共有します。彼らは、2016年に初版が発刊され、2022年版でLNGおよび浮体式ターミナルを追加して更新されたPIANC WG153及びWG153Bの最新改訂版について議論します。本改訂版は、エネルギー部門の脱炭素化によって生じる新たな燃料等の新たな状況から生じる課題に対応するものです。

加えて、本セミナーでは、ジェイ・ボイル(Jay Boyle)氏(GoBe Consultants Ltd. 社)によるプレゼンテーション「自然との共生：生態系強化と海上インフラ」も実施されます。

海洋インフラは、人間社会の発展と生態系の強化を調和させる大きな機会を提供します。この講演では、自然も包含した設計及び再生・修復イニシアチブ等の生態系の強化戦略を詳細に解説し、海洋生態系の強化や生物多様性の促進、生態系の回復力向上について説明します。ジェイ氏は経験と実例により、海洋・沿岸プロジェクトに生態学的な検討を組み入れることで、地域社会と環境の双方に持続可能な利益をもたらしつつ、合意形成に係るリスク・困難性を軽減し主要な環境目標に向かって進む方法を示します。また、自然再生に取り組む際の物流面と生態学面の課題と、これらの障壁をいかに乗り越えるかについても焦点を当てます。

最後に、ジャン・ブルック(Jan Brooke)氏が「気候変動適応策：ベスト・プラクティスのための基本指針」を講演します。

2020年以降、PIANCでは港湾・水路の気候変動適応策に係る意思決定を支援するため、以下の4つのガイダンス・指針報告書を発行しています：

- 気候変動適応策計画に関するWG178報告書
- 不確実性への対応に関する技術ノートNo.1
- 強靱化策への投資の事業計画策定に関する技術ノートNo.2
- 気候変動データとその要因に関するタスクグループ最新情報No.3

これらの報告書の実践活用とフィードバックから、港湾・水路インフラとその運用における気候変動適応策及び強靱化策のベスト・プラクティス実施を支援するため適用可能な幾つかの基本指針に焦点を当てます。



海港委(MarCom) WG 25I 業界アドバイザリー・フォーラム

PIANC WG 25I-「破断係船索の補足装置の設計に関するガイダンス(Guidance on the Design of Parted Mooring Line Arresting Systems)」-では、オーストラリアのジョーダン・バトラー(Jordan Butler)氏が議長を務め、過去2年間にわたり「係留索の破断現象事象(極端な事案は「スナップバック(Snapback)」と呼ばれる)」に関する既存及び最新の調査研究を精力的に収集・整理してきました。

この取組みにより、係留索の破断(スナップバック)に関して、これまで未報告だった、あるいは報告不足であった数多くの知見が明らかとなりました。この中には、切断された係留索の移動速度や経路、および係留索と係留構造物との相互作用などが含まれます。本WGの目的達成には、より広い範囲で港湾業界関係者の皆さまにご参加いただき、フィードバックを行い、ベスト・プラクティスを理解し、世界的なスナップバック現象の発生頻度に関するデータの収集が必要です。

2025年12月11日～12日、西オーストラリア州フリーマントル港で開催されるPIANC WG 25I 業界アドバイザリー・フォーラムへの皆さまのご参加をお待ちしています。海外からの参加者や現地参加の移動が難しい方々はオンライン参加も可能です。

本フォーラムでは、係船索の補足装置の設計・導入に向けたリスクや信頼性を考慮した指針の策定、ならびに係船索の破断事象の特性・エネルギー・経路・速度の定義などの本WGの主要業務の報告などで構成されます。

本年は港湾管理者当局、港湾オペレーター、技術者、係船索具メーカー、荷役業者、建設業者が一堂に会し、海事分野全体の知見とベスト・プラクティスを共有します。本フォーラムでは、WG 25Iの中間調査結果の検証、運用データや経験の共有、世界中の港湾関係者の安全向上につながる国際的な提言の形成に貢献する場を提供するものです。

2日間のプログラムでは、WG 25Iの最新情報、フリーマントル港当局からのプレゼンテーション、港湾所有者・オペレーターとの円卓会議を予定しています。現地海事関係施設の視察や、初日の夜のネットワーキング・セッションも実施されます。

暫定スケジュール (GMT+8) :

- 12月11日(木) 13:00-17:00: 開会挨拶, WG25Iの最新情報, フリーマントル港当局プレゼンテーション, ネットワーキング・セッション(夜, 18:00)
- 12月12日(金) 10:00-17:00: 視察, 円卓会議, 閉会セッション

本フォーラムへの参加は、港湾当局、施設所有者、技術者、荷役業者、建設業者、係船索メーカー、及び係船の安全性向上に関心をお持ちのその他の関係者・関心のある皆さま全てが参加可能です。

より安全で強靱な港湾の実現に向け、この重要な専門知識の交換と協力の場合ぜひご参加ください。参加ご希望者は、こちらよりご登録ください: <https://forms.office.com/r/vwUChh3daf>

ジョーダン・バトラー(Jordan Butler)
WG 25I議長

アンケートのお願い WG 252 - 「海上インフラプロジェクトの設計による安全性 (Safety by Design of Maritime Infrastructure Projects)」 -

WG 252- 「海上インフラプロジェクトの設計による安全性」では、全世界・広範な地域にまたがるPIANC会員の皆さまにとって価値あるWG報告書を作成すべく、当WGの活動へのご協力をお願いするものです。

今回のアンケートは、当分野で認識されているリスクの具体例や、設計ライフサイクル全体を通してこれらのリスクへの対応や軽減策について実証済みの手法をWG報告書に盛り込むための参考となります。

既に活用されている「設計指針等によるベスト・プラクティス」は本WGの作業においても多いに参考になるものですが、本WGの目指す報告書はそれらとは異なり、海上インフラ分野が直面している具体的な課題と解決策を読者に提供することを目的としています。

アンケート調査は最短10分程度で完了します。連絡先欄にメールアドレスご記入の方全員に対し、集計結果を共有できるよう考えています。

1. アンケート回答は右記のリンクから <https://forms.office.com/e/qAeek7G2ym>
2. （または）下記のQRコードより：



エイダン・ルイス ([Aidan Lewis](#))

WG 252議長

PIANC 若手技術者委員会(YP-Com)の最新情報

第46回PIANC YP-Com代表者会議：最近の動向

2025年10月16日、第46回PIANC YP-Com代表者会議がオンライン開催され、世界各国から30名の代表者・オブザーバーが参加しました。

新たにYP-Com委員長に就任したキム・ヒョンドン([Hyun Dong Kim](#))氏は、今回から新たに加わったメキシコからの新オブザーバーの皆さまを歓迎しました。

主な議題となったのは、本部の各WGへの取組みやメンターとしての主導的な活動へのYP(若手技術者)の参加の拡大を目指した「若手技術者委員会(YP-Com)行動計画2024-2028」でした。また、韓国・釜山における「YP BTV (Biennial Technical Visit)(隔年開催のYP技術視察)」や米国・メンフィスでの「PIANC-Smart Rivers 2025」イベントなどの主要イベントの振り返りも行いました。

今後の展望として、PIANCでは2027年の隔年開催のYP技術視察の開催都市としてバルセロナに決定と発表しました。加えて、欧州、アフリカ、南北アメリカ、アジア・太平洋地域において連携と協働を強化するためのハイブリッド形式を含む数多くの地域・国際イベントが計画されています。

COPRI(Coasts, Oceans, Ports & Rivers Institute(USACE, 米国土木学会)), IAHR(International Association for Hydro-environment Engineering and Research), HTG(Hafentechnische Gesellschaft e.V. (German Port Technology Association))等の国際・地域組織との連携強化を強調するとともに、PIANCのデジタル基盤及び会員のカテゴリーに係る最新情報が共有されました。特に、30歳以下を対象とした新たな(本部の)学生会員制度では、2年間の無料アクセスが提供されます。

会議では、水上交通インフラ分野における若手技術者に対する持続的な育成と支援を確保するため、地域チーム及びメンターシステムの強化を呼びかけることで締めくくられました。

📣 Big News! – BTV 2027

BTV 2027 is coming to... BARCELONA!



Venue: Portal de la Pau



Port de Barcelona

2026年から新YP-Com事務局長(Bruno Maggiolo Rodón氏)を迎えます

2022年より、若手技術者委員会(YP)の事務局長を務めさせていただく光栄に浴しています。PIANCにおける若手技術者の成長と交流に貢献できた本当に実り多き経験であったこと、過去数年間にわたる皆さまからのご協力、対話・交流、多くの時間を共有できたことに心より感謝申し上げます。

2026年以降を見据えて、本役職の後任者としてアルゼンチン出身のブルーノ・マッジョロ・ロドン([Bruno Maggiolo Rodón](#))氏という素晴らしい方が就任されることをお知らせします。今後6か月で私から徐々に業務を引き継ぎ、円滑かつ十分なサポートのもとでの移管を確実に行います。

ブルーノ氏は27歳の土木技術者で、現在、the Rotterdam Mainport Instituteにおいて海運・交通輸送の修士号取得を目指しています。Port Consultants Rotterdam(PCR)に勤務、港湾・ターミナルにおける戦略的なインフラ開発に貢献されています。

PIANCアルゼンチン委員代理としての経験から、国際的な視野と我々のコミュニティへの強い情熱をお持ちです。英語、スペイン語、イタリア語(基礎)、そして現在オランダ語を学んでおられ、まさにグローバル人材です。

ブルーノ氏は、新たな挑戦に意欲的であり、若手技術者ネットワークの支援と強化に最善を尽くす考えです。彼がチームの貴重な存在となり、献身的な姿勢と新たなエネルギーを注ぎYP活動の継続拡大を図っていくと確信しています。

ブルーノの就任を皆様と共に歓迎し、今後の活動が本格化していく中で、彼にお気軽にご連絡いただければ幸いです。



アンヤ・ブリュニング([Anja Brüning](#))

若手技術者委員会 現事務局長 - PIANCドイツ

2025年、これまでに開催されたYP地域イベント

日本

2025年9月24日～25日, YP Japan(若手技術者・日本支部)イベントとして, 栃木県所在の五洋建設(株) 技術研究所及び那須研修センターにて現地視察・研究会を開催しました。

初日は, 五洋建設(株) 技術研究所にて, 実験設備の紹介, 博物館見学, 施設見学を実施し, その後, 夕刻に那須研修センターにて懇親会を開催しました。

二日目の午前中は研究会を開催し, 遠地津波, 洋上風力発電, ケーソン据付の自動化, ブルーカーボン生態系を伴う沿岸構造物などの多岐にわたるテーマについて6名の参加者による発表を行いました。午後は「YPイベント」としてワークショップ形式で実施し, PIANCのWG報告書をベースに議論を深め, 自らの業務における国際的な立場を再考する機会となりました。

国土技術政策総合研究所をはじめ, 建設会社, メーカーなどから計10名が参加し, 活発な技術交流とネットワーキングの貴重な機会となりました。



豪州・ニュージーランド

西オーストラリア州のYP支部は, 2025年10月1日に学生向けネットワーキング・情報提供イベントを開催しました。本イベントは, 西オーストラリア大学・インド洋海洋研究センターにおいて, 海洋学生協会との共催で開催されました。PIANC会員団体の代表より, 水上交通分野におけるキャリア形成や機会, ならびにPIANCの機能やメリットについて, 学生へ説明とネットワーキングの機会を提供しました。

40名を超える学生に参加いただき, 大変盛況のうちに終了し多くの参加者が意欲的に会場を後にしました。





今後のYP地域イベント -お知らせ

豪州・ニュージーランド

ニュージーランド沿岸域学会(NZCS; New Zealand Coastal Society) 会議における若手技術者交流会

・開催地：ネイピア

・日程：2025年11月19日

・<https://www.coastalsociety.org.nz/conferences/2025/networking-events/>

欧州 -英国

PIANC「北海」会議の併催YPイベント

・開催地：ハル

・日程：2026年5月10日～12日

・<https://www.pianchull2026.org/>



振興委員会(ProCom) 2025年第4回会合

2025年最後のProCom会合は、2025年10月20日に開催されました。ProCom委員は前回会合のアクションポイントを確認し、各サブグループ(分科会)が直近の活動概要を報告しました：

- ソーシャルメディア分科会
- 対外広報・コミュニケーション分科会
- 会員分科会
- 各国部会支援分科会
- WG支援分科会

また、ProCom委員は「PIANC名義・ロゴ使用ガイドライン」改訂案についてブレイン・ストーミングを行い、次回の評議会(Council)開催時に各国部会会議を設け、ベストプラクティス共有を図ることを決定しました。次回のProCom会合は、2026年2月のPIANC会合週間中の2月4日(水)午後にハイブリッド形式で開催されます。会合に先立ち、委員会合同昼食会が実施されます。